

お金の管理と簿記・会計

皆さんは、今どれだけお金を持っていますか？お金が今いくらあり、毎月いくら入ってきて、毎月いくら支出しなければならないかが分からなければ、毎月の生活をする為の計画が立てられません。これが会社だと、商品の仕入れや販売、あるいは従業員への給料の支払い、税金の支払いなど、もっと複雑な経済活動をきちんと把握しなければなりません。

そこで、「簿記」と「会計」が必要になります。簿記とは、会社や個人の経済活動を記録をする為の道具です。会計とは、簿記を使って、一定のルールに沿って自らの財政状態や経営状態を把握し、自らの将来の経営計画に役立てたり、投資家に自らの財政状態や経営状態を公表して、もっとお金を預けてもらえるようにしたりする活動を指します。

簿記や会計が分かれば、お金の出入りや財産・借金の状態が把握できるので、金銭感覚が身につく、生活や企業経営を行う際に計画性が出てきます。経営者は自分の会社の状況を把握できるし、投資家にとっては、どの会社に投資すれば儲かるかの判断に役立ちます。

初めて勉強する人は、まず簿記を勉強しましょう。簿記は、短期間に集中して学習するのが効果的です。最初は加古宜士・渡部裕亘・片山覚

『新検定簿記講義・3級商業簿記』などの教科書を使うとよいでしょう。会計は、しばしばルールの変更がありますが、基本の考え方は大きく変わりませんので、まず基本的な考え方を習得する必要があります。会計の基礎的な入門書としては、田中建二『財務会計入門』がよいでしょう。さらに会計を勉強したい人は、桜井久勝『財務会計講義』か、森川八洲男『体系財務諸表論』がよいでしょう。会計のルールは頻繁に変更されるので、なるべく新しい教科書で勉強しましょう。

簿記や会計には検定試験や資格試験があります。とくに、会計士や税理士の資格は、試験が難しいですが、資格を得れば、専門知識を生かして社会で活躍できるようになります。

お金だけで幸せになれるとは限りませんが、会社でも家庭でも、お金は大切です。皆さんもお金の管理の為に、簿記や会計を勉強してみてください。



- 経営分析
- 国際会計基準
- 連結財務諸表論

池田 幸典
(いけだ ゆきのり)

1974年6月大阪生まれ。京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了、博士(経済学)。研究領域は財務会計(とくに負債および資本の会計)。主な担当講義は、連結財務諸表論、国際会計基準、経営分析。